

「関東ブロックにおける社会資本整備重点計画」に対する御意見

氏名	所属
平澤 哲哉	東京商工会議所地域振興部長

■ご意見の内容(1/1)

1. 関東ブロックの将来像については、安全・安心と持続的な経済成長により国際競争力の強化を実現し、世界の人材、企業等から選ばれる首都圏を目指していくことが重要である。
2. 概ね10年から20年先を見据えた社会資本整備の中長期的な目的については、コロナ禍を踏まえ、首都東京は高度な都市機能の集積により、引き続き国際的な都市間競争に勝ち残るための機能強化を図るとともに、郊外はライフスタイルの変化に合わせた自立したまちに、地方は人口減少・高齢化の時代を生き残るためにコンパクトシティ化・公共交通ネットワーク再構築などを推進し、規模の異なる複数の拠点が、それぞれの役割を分担し、補完し合いながら共存共栄する、自立分散型都市構造の形成を目指すことが重要である。
3. 計画期間内の社会資本整備の目標を達成するための取組の方向性について、「3つの総力」を挙げた社会資本整備の深化においては、関係者の積極的な関与を促す方策やインフラ整備のスピードアップに向けた取組みの検討・実施が必要である。インフラ経営においては、民間の利活用を推進するとともに、ストック効果の最大化、見える化・見せる化を推進することが重要である。
4. 持続可能で質の高い社会資本整備を下支えするための取組については、中長期的に安定的・持続的な公共投資の確保が不可欠である。経済界との緊密な連携の下、建設キャリアアップシステムの推進をはじめとした担い手確保・育成、デジタル化等による生産性向上など、建設産業の課題解決を重視した取組が重要である。
5. 重点目標1～6はいずれも重要な取組であり、特に、安全・安心と持続的な経済成長につながる社会資本整備についてはスピード感を持って着実に推進することが重要である。